重要なまちづくりの課題の現状評価シート

重要なまちづくりの課題（めざすべき姿）	豊かですこやかな食生活を送っている		
施策名	食育を推進する	No.1	

年度	平成28年度
責任部長	市民健康部長
主担当課長	健康づくり課長
関係課	保育課、農業振興課、学校教育課、学校給食課

1. まちづくり指標の現状

まちづくり指標		指標のめざす方向	現状値 H18 / H24	実績値 H20 / H25	実績値 H21 / H26	実績値 H22 / H27	実績値 H23 / H28	実績値 H24 / H29	目標値 5年後 / 10年後
食事の量と質を適正にとっている人の割合（%）		↗	63.5	62.6	65.0	63.6	64.0	64.3	69.2
			64.3	65.1	64.5	65.3	66.7		74.4
生活習慣病予備群の子どもの割合（%）	①幼児	↘	0.6	0.6	0.6	0.9	0.7	0.5	0.5
			0.5	0.5	0.5	0.6	0.4		0.4
	②小中学生		9.2	8.2	8.2	7.3	7.2	6.8	7.8
			6.8	6.9	6.7	6.6	6.5		6.4
自分の食生活に問題を感じ、改善した、あるいは改善したいと思う人の割合（%）		↗	―	―	―	―	―	―	―
			―	55.9	53.3	55.6	54.0		66.3

2. 外的要因（世論、自然環境、社会動向、民間・NPO活動等）

食に関する価値観やライフスタイルの多様化、世帯構造の変化により、健全な食生活を実践することが困難となっている。特にエネルギーや食塩等の過剰摂取、野菜の摂取不足等の栄養の偏り、朝食の欠食に代表されるような食生活の乱れがみられる。

3. めざすべき姿に対する現状評価（まちづくり指標や外的要因等からの評価）

現状評価	B 停滞	食事の量と質を適正にとっている人の割合はわずかに増加している。生活習慣病予備群の子どもの割合は概ね減少傾向にある。自分の食生活に問題を感じ、改善した、あるいは改善したいと思う人の割合は微増減を繰り返している。以上のことから、B評価とした。

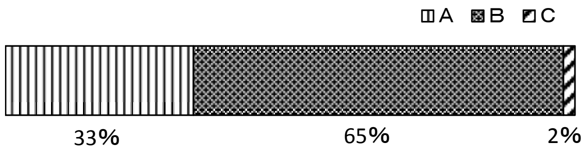
評価がB・Cの場合

4. 事務事業群に対する評価（行政活動の評価）

長期成果（事業群①）	長期成果（事業群②）		長期成果（事業群③）
楽しく食事ができる	食に対する知識が身につき、安全・安心に対する関心を持っている		
学校給食事業	妊産婦保健指導事業	成人への生活習慣病予防事業	
調理場施設設備の整備事業	健康教室（母子）事業	健康増進情報提供事業	
食と緑の地域コミュニティ事業	乳幼児相談事業	肥満予防研究推進委員会の設置	
	乳幼児健康診査事業	栄養指導事業	
	食生活改善推進員支援事業	学校給食啓発事業	
	参加型食育推進事業	食育推進連絡会事業	
	地場野菜供給センター食育実践事業		
	有機堆肥利用促進補助事業		
	学校における食育推進事業		
	私立幼稚園食育啓発事業		
	保育園食育啓発事業		

評価観点	1. 長期成果は重要なまちづくりの課題（めざすべき姿）の一歩手前の状態となっており、モレなくダブリなく設定されているか。 2. 各事業群の事務事業は、長期成果を達成するのに必要十分であるか。
評価	食事の量と質を適正にとっている人の割合は増加、生活習慣病予備群の小中学生の割合は減少しており、食育推進事業の成果が出ていると考えられるが、目標値には達していない。また、自分の食生活に問題を感じ、改善した、あるいは改善したいと思う人の割合は横ばいなので、引き続き幅広い機会をとらえて食に関する啓発活動を行うことが必要である。
次年度の改善計画	広く食に関する啓発をするためには、地域の身近なところで行われる活動が効果的である。食生活改善推進員の活動は年々活発になっているので、継続して活動を支援していく。また、成人対象の栄養教室は平成28年度より講義と調理実習をセットにして内容の充実を図ったので、継続していく予定。

* *

市民からみた計画の進捗状況

・A判定（改善傾向）　33 %
・B判定（停滞）　65 %
・C判定（悪化傾向）　2 %